

Event Reports

5G

Open House

展示会レポート

docomo Open House 2021

—ここから、みんなの、あたらしい社会が はじまる。Hello, Transformation.—

R&D戦略部 たまおき まさひろ
玉置 真大†

2021年2月4日から7日の4日間にわたり、オンライン上で「docomo Open House 2021 —ここから、みんなの、あたらしい社会がはじまる。Hello, Transformation.—」を開催した。本稿では、本イベントの開催模様を紹介し、主だった展示の詳細について解説する。

1. まえがき

ドコモは、2021年2月4日から7日の4日間にわたり、オンライン上で「docomo Open House 2021 —ここから、みんなの、あたらしい社会がはじまる。Hello, Transformation.—」を開催した。

本稿では、本イベントにおける主だった展示の詳細について解説する。

2. Webページ上でのオンライン展示会

昨今の社会情勢を踏まえ本イベントはオンライン上での開催とし、Tech Showcaseと題してドコモおよびパートナーの皆様より233展示を公開した。

展示に合わせてdocomo Open House TVと題した各種講演・セミナーも同時開催し、ドコモ幹部だけではなく社外の著名人の方々にもご参加いただき、今後の社会課題解決や新たな価値創造に関する講演など、第5世代移動通信システム（5G）やAIなどの技術に馴染みがない者にも楽しんでもらえるようバラエティに富んだ74コンテンツを公開した。4日間の会期中で閲覧者総数は90,000人を超え、盛況であった（図1）。

Tech Showcaseでは、それぞれ個別にテンプレート化したWebページの中で技術の中身や、それを用いる事によるユーザメリットを紹介し、展示によってはWeb会議システムを通したライブデモの閲覧やチャットボット、閲覧者からのコメント記

©2021 NTT DOCOMO, INC.

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

† 現在、移動機開発部

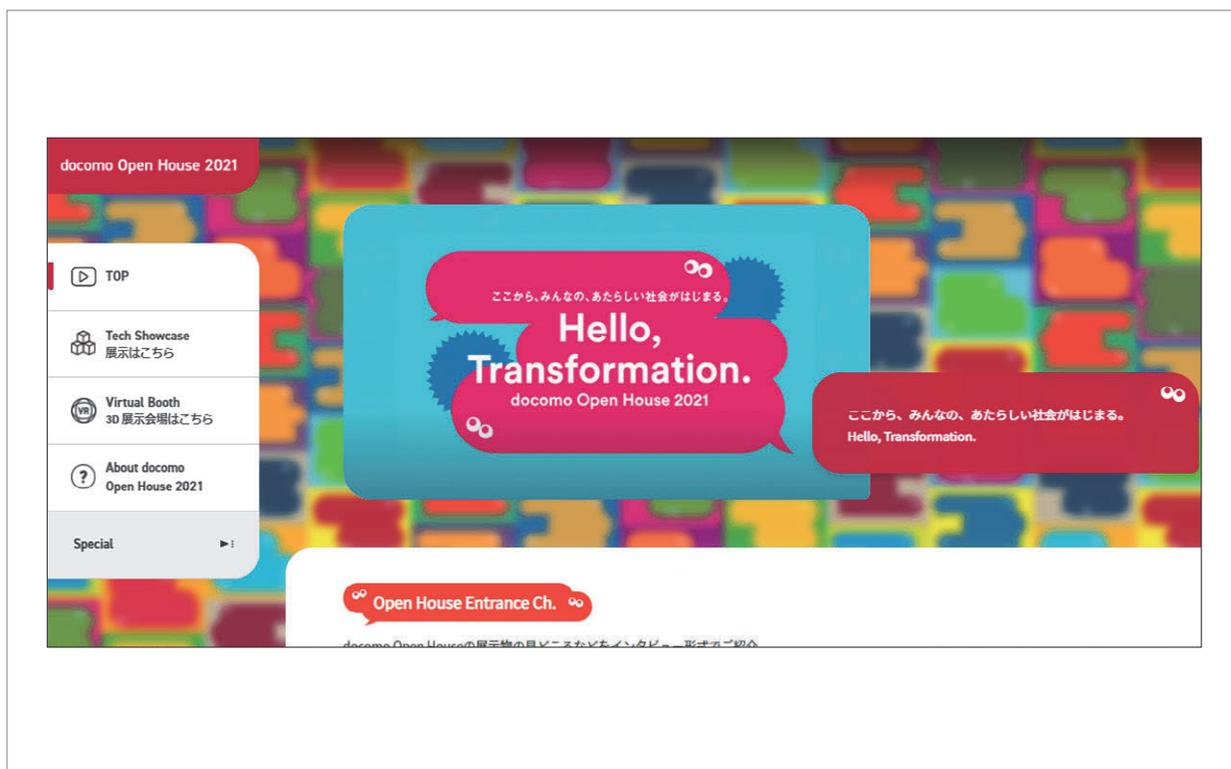


図1 docomo Open House 2021 エントランスページ

載、登録情報を用いた名刺情報の交換などのインタラクティブな機能を提供した。また、通常のリアルな会場を用いた展示会と比較し、ディスプレイや展示台の設置などの制約に縛られる事無く、多くの動画によるコンテンツ訴求が可能であった(図2)。

講演・セミナーも同様に、会場の広さや時間の制約を受ける事なく提供が可能であり、同時に7つの動画を配信する事によりユーザがザッピング感覚で各種講演・セミナーを視聴可能とした。またすでに終了した講演・セミナーの配信についても、いわゆる「見逃し配信」としてユーザの閲覧時間に縛られない提供が可能であった。また、オンラインでの配信だからこそ可能な演出もあり、ウェルカムスピーチでは井伊 基之 代表取締役社長がVolumetric Capture^{*1}による演出を行った(図3)。谷 直樹 常務執行役員R&Dイノベーション本部長は「デジタルが

つくりだす新たな社会」と題した講演で、安全・あんしんに仕事や生活が送れる環境がニューノーマル^{*2}となる社会の実現に向け、先進テクノロジーやエコシステムの進化で貢献するドコモの取り組みを紹介した。その他、ドコモの取り組みをより楽しく知っていただけるよう、著名人による技術解説番組「なにこのテック?!」など、パートナーの枠を超えた多彩なテーマに沿った講演も開催した。

3. スマートフォンアプリケーション上でのVR展示会

前述のWebページ上での展示と同時に、Virtual Boothと題してドコモが独自開発したVirtual Event Platformを用いて、ドコモのもつ技術やソリューションを活用したコンテンツに没入体験するVR展

*1 Volumetric Capture: カメラなどで撮影した映像を3次元のデジタルデータへ変換し、3D空間上に再現する技術。

*2 ニューノーマル: 社会の環境や情勢の変化に伴い、不可逆的に新たな常識が定着した状態。



図2 docomo Open House 2021 Tech Showcase

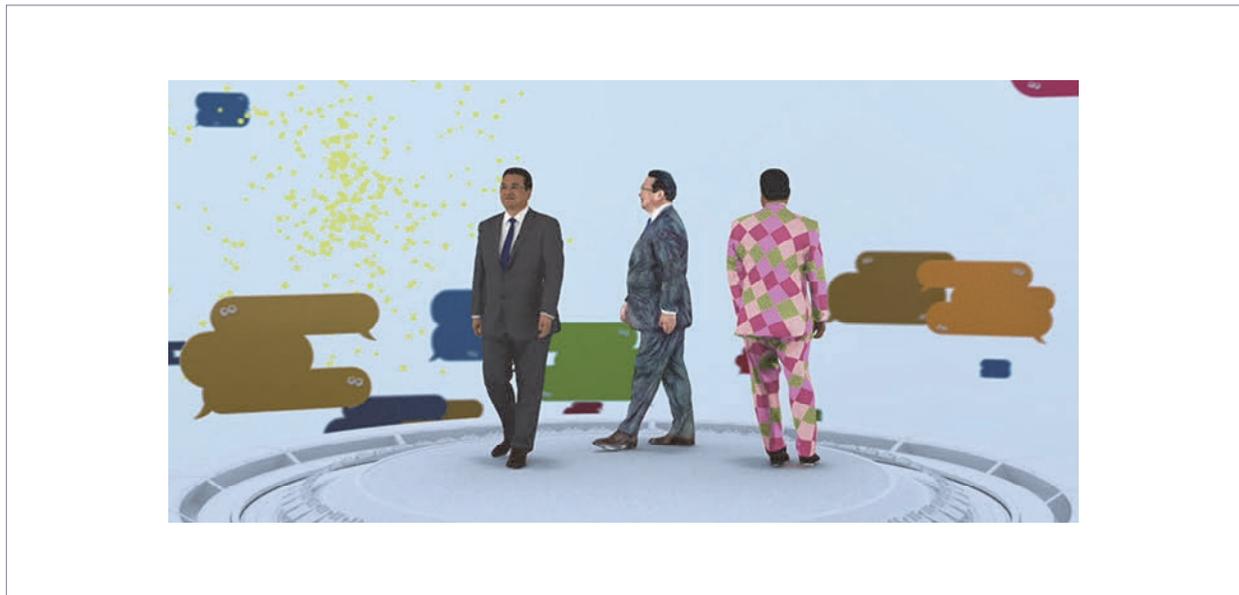


図3 ウェルカムスピーチ

示も実施した（図4）。

本Virtual BoothではVolumetric Video技術を用いて、著名人やパドミントン選手の映像に3Dのオブジェクトやモデルなどの演出を加えたリッチで臨

場感のある限定コンテンツをスマートフォンアプリにより配信した（図5）。本技術は、専用の機材を用いてあらゆる角度から撮影した人や物の3DモデルをVR空間にそのまま再現するだけでなく、被写



図4 Virtual Booth



図5 Virtual Booth内基本ブースの様相

体の動きも高精度にデジタル化できるもので、臨場感のあるVRコンテンツを360度自由な視点で視聴することを可能にした。

4. あとがき

本稿では、2021年2月4日から7日の4日間にわたり行われた、「docomo Open House 2021 —ここか

ら、みんなの、あたらしい社会がはじまる。Hello, Transformation.—」の開催模様を紹介し、展示についての解説を行った。

ドコモでは、未来の新たな社会に向け、ユーザーの生活スタイルやコミュニケーションを革新する、楽しさ、驚きのあるサービスを創り出していく。また、日本の成長と豊かな社会の実現を目指して、社会課題の解決に取り組みたい。